

測定手法届出書 別紙 記載要領

項目	記載内容等	記載例
1 について 計測場所	計測場所を示す地点番号を記載する。 添付する図面にその記号で計測地点を示すこと。 2 地点以上の計測点により負荷量を測定する場合（差し引き方式、量を用水から計測する場合等）は枝番を付す。	A、B 1、B 2
計測方法	計測方法を文章で記載する。	特定排出水を直接計測する。 差し引き方式により計測する。
計測場所における 排水等の状況 1 種類 2 通常不值	計測点における水の種類を記載する。 届出の通常汚染状態及び水量を記載する。	特定排出水、用水、 排水、特定排出水 以外の排水
計測法区分 1 汚染状態 2 量	計測法として用いる昭和54年環境庁告示第20号（COD）、平成13年環境省告示第77号（N）、78号（P）の別記1及び2の計測法を記載する。（以下それぞれ20号告示、77号告示、78号告示という。）	別記1の（1）、別記1の（2） 別記2の（1）
自動計測等の種類・型式 1 汚染状態 2 量	機器の名称及び型式並びに製造会社名を記載する。 手分析で計測する場合は「指定計測法」と記載し、分析機関名を備考欄に記載する。 別記2（3）により計測する場合は具体的に方法を記載する。	直接三角せき、水道メーター
換算式 1 汚染状態 2 量	CODについては、20号告示の別記1（1）又は（4）により計測する場合に記載する。 用水により計測する場合に記載する。	$y = x +$

知事の定める要件 の適用項目 1 汚染状態 2 量	原則の計測方法以外の方法で計測する場合には昭和55年山口県告示第644号、平成14年山口県告示第379、381号(以下「計測告示」という。)の該当番号を記載する。	計測告示1の3項
計測回数	計測場所ごとに計測回数を記載する。	毎日、1回/7日
1 の添付資料 (1)図面等	添付図面例による。なお、自動計測器のカタログを添付する。	
(5)及び(7)イの換算式及び換算式が成立する根拠	換算式を求めた次の資料をまとめて添付する。 換算式、自動計測器等の種類、型式、指定計測法による分析機関名、データシート、散布図、回帰直線、管理図、相関係数	
(9)計測器等の選定根拠	22号、77号、78号告示別記1の(1)及び別記2の(1)又は(2)により計測する場合に添付する。	
その他	各根拠は詳細に記載し添付する。	
2について 計測場所	1と同じ。ただし、2箇所以上測定場所がある場合は最初に合計を記載する。	
算定に用いる算式		$L a = C a \cdot Q a \times 10^{-3}$
算定方法	汚濁負荷量を算出する方法を記載する。	負荷量演算器、手計算
特定排出水の汚染状態	計測場所における特定排出水(排出水等を計測している場合であっても特定排出水のみについての値とする。以下同じ)の届出通常値を記載する。	
特定排出水の量	計測場所における特定排出水の通常量を記載する。	

特定排出水の汚濁 負荷量	届出通常の汚濁負荷量を記載する。	
汚濁負荷量の全体 に占める割合	計測場所における特定排出水の汚濁負荷 量が全特定排出水の汚濁負荷量に占める 割合を百分率で小数点第1位まで記載す る。	
排出される排出口 名	計測場所下流の排出口NOを記載する。	
1日の周期	汚濁負荷量を算定する場合の1日を定 め、その時間を記載する。計測場所が複 数の場合は合計の欄のみ記載する。	
その他	計測回数が毎日以外の場合は計測の日を 定め、又、1日の計測（採取）の時刻を 定めて備考欄に記載する。	毎週水曜日、毎月15 日（休日の場合は翌 日） 8時、12時、16時に 採水、1時間ごと